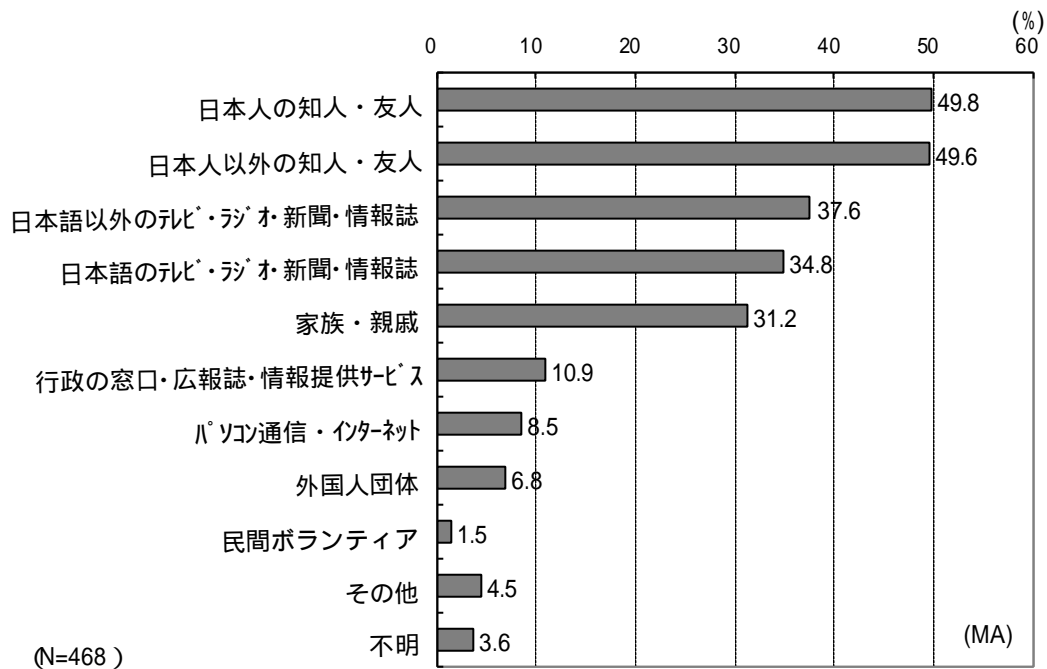


2 - 5 生活情報・相談

(1) 情報の入手先

生活に必要な情報源としては、「日本人の知人・友人」(49.8%)、「日本人以外の知人・友人」(49.6%)をあげた回答者が共に約半数と多く、次いで、「日本語以外のテレビ・ラジオ・新聞・情報誌」から得るとい回答者が37.6%と多くなっている。また、「行政の窓口・広報誌・情報提供サービス」は10.9%となっている。

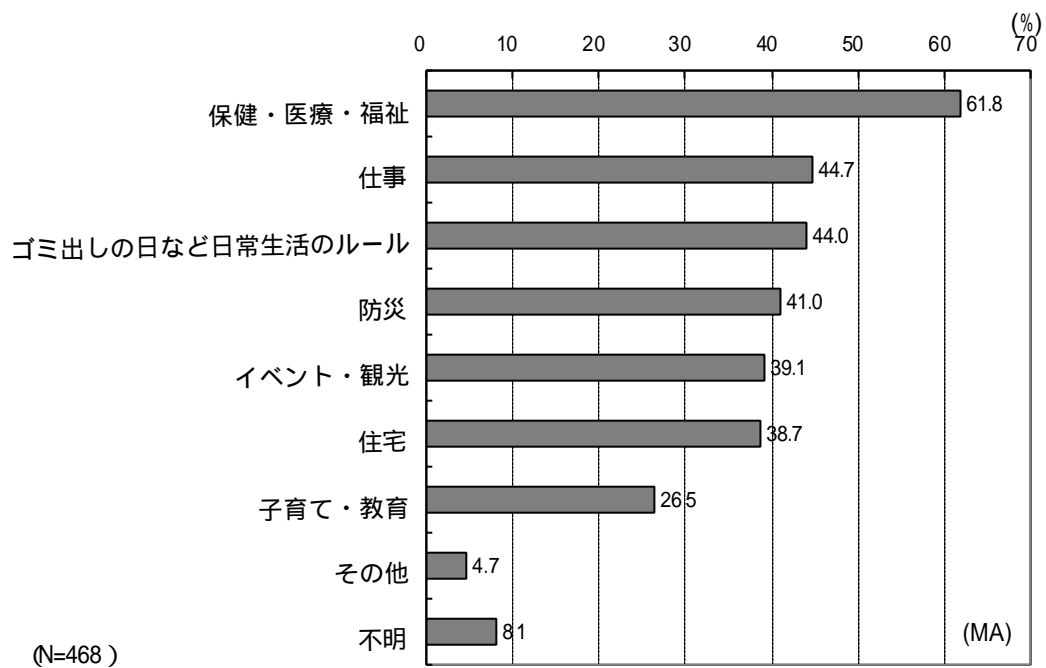


質問

生活に必要な情報は主にどこから得ますか。(複数回答)

(2) 必要な情報

現在、生活するうえで必要な情報として、「保健・医療・福祉」をあげる回答者が61.8%と最も多い。また、「仕事」「ゴミ出しの日など日常生活のルール」「防災」「イベント・観光」「住宅」に関する情報についても約4割の回答者が必要としており、全般的に情報ニーズが強くみられる。



質問

現在、生活するのにどのような情報が必要ですか。(複数回答)

(3) 公共の案内・サイン

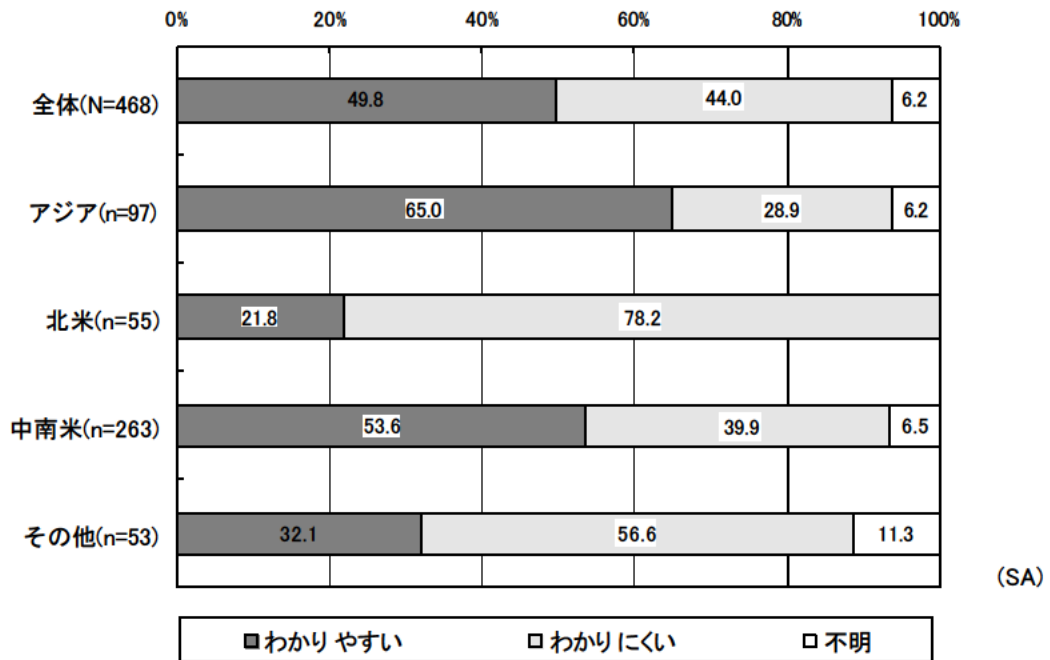
①わかりやすさ

<全体>

公共の案内、サインなどは、「わかりやすい」という回答（49.8%）と、「わかりにくい」という回答（44.0%）がほぼ半々となっており、評価が分かれている。

<地域別>

地域別にみると、アジア出身者では「わかりやすい」とする回答が65.0%と多く、中南米出身者も「わかりやすい」という回答が多くなっているが、逆に北米、その他の出身者では「わかりにくい」という回答の方が多い。

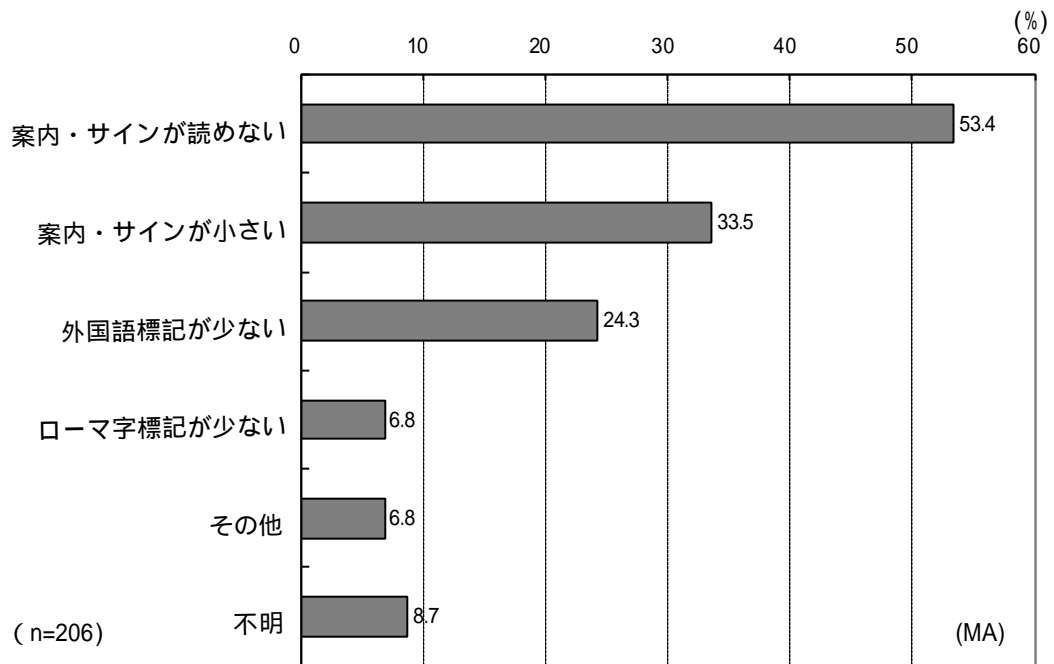


○質問

公共の案内・サインなどはわかりやすいですか。(単一回答)

わかりにくい点

「わかりにくい」と回答した者について、どのようなところがわかりにくいか質問したところ、「案内・サインが読めない」(53.4%)という回答が多い。また、「案内・サインが小さい」という回答も約3割となっている。



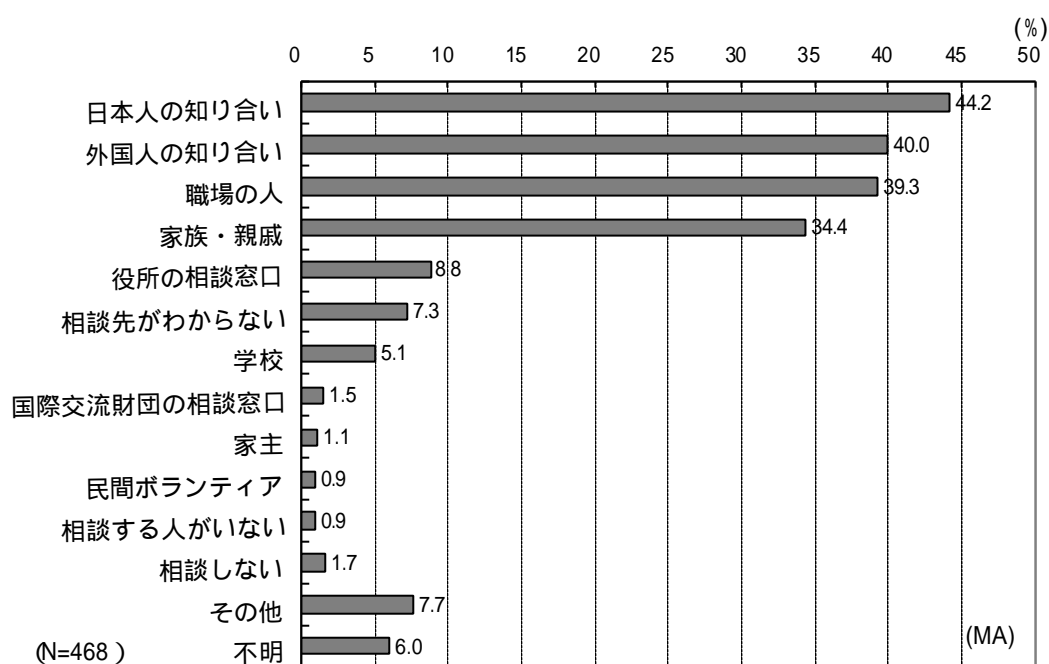
質問

どのようなところがわかりにくいですか。(複数回答)

(4) 相談先

困ったときの相談先としては、「日本人の知り合い」に相談に行くという回答者が44.2%と最も多く、「外国人の知り合い」(40.0%)、「職場の人」(39.3%)、「家族・親戚」(34.4%)に相談に行くとする回答も多い。

また、「役所の相談窓口」は8.8%、「国際交流財団の窓口」は1.5%となっている。



質問

困ったときはどこに相談に行きますか。(複数回答)